

神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond 第3弾 出展アーティスト 8組を発表！



①川俣正《カワマタ・ブリュッケ》スイス、2022年 ②須田悦弘《雑草》2008年 (c) Yoshihiro Suda / Courtesy of Gallery Koyanagi ③高橋匡太《いとどどりのかけら》2024年 (リニューアル)、常設展示、十和田市現代美術館 撮影:村上 美都 ④高野千聖《Generator》2024年、Generator、北加賀屋千島ビル北側空地(大阪) 撮影:小西小多郎 ⑤ナウイン・ラワンチャイクン《赤倉の学堂》2015年、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ、新潟県十日町エリア(赤倉村) 撮影:Navin Production ⑥パインツリークラブ《売店》2023年 ⑦村松亮太郎/NAKED, INC.《DANDELION PROJECT》 ⑧堀尾貞治×友井隆之《1ton 彫刻》2020年、宝塚現代美術てん・てん、宝塚市文化芸術センター(兵庫)

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:妹尾昭孝)は、2025年8月23日(土)～11月30日(日)まで神戸・六甲山上を舞台とした現代アートの芸術祭「神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond」を開催します。

この度、新たに**招待アーティスト8組が決定**しましたのでお知らせします。これまでに発表した22組に加え、**計30組**の出展が決定いたしました(4月14日現在)。6月上旬に発表する公募アーティストを含め、今年 は約60組が出展予定です。

※各アーティストのプロフィールは別紙をご確認ください。

※詳しくは公式 Web サイト(<https://www.rokkomeetsart.jp/>)をご確認ください。

【第3弾 招待アーティスト】※50音順

川俣正、須田悦弘、高橋匡太、高野千聖、ナウイン・ラワンチャイクン、パインツリークラブ、村松亮太郎/NAKED, INC.、堀尾貞治×友井隆之 (2025年4月14日現在)



■ 開催概要

神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond

【会 期】 2025年8月23日(土)～11月30日(日)

【開催時間】 10:00～17:00 ※営業日・時間は会場により一部異なります。

【会 場】 ミュージアムエリア(ROKKO 森の音ミュージアム・六甲高山植物園・新池)、六甲ケーブル(六甲ケーブル下駅・山上駅)、天覧台、兵庫県立六甲山ビジターセンター(記念碑台)、六甲山サイレンスリゾート(旧六甲山ホテル)、トレイルエリア、みよし観音エリア、六甲ガーデンテラスエリア、風の教会エリア

【アーティスト】 イケミチコ、岩崎貴宏、Winter/Hoerbelt(ヴィンター／ホルベルト)、植田麻由、岡田裕子、長雪恵、小谷元彦、開発好明、川俣正、北川太郎、倉知朋之介、佐藤圭一、さとうりさ、さわひらき、白水ロコ、須田悦弘、園田源二郎、高野千聖、高橋瑠璃、田中望、ナウイン・ラワンチャイクン、中村萌、西田秀己、パインツリークラブ、船井美佐、堀尾貞治×友井隆之、三梨伸、WA!moto."Motoka Watanabe" (4月14日現在)

【料 金】 大人＝中学生以上、小人＝4歳～小学生、3歳以下無料

| 種類 | 販売期間 | 昼夜パス (10:00-20:00) ※夜はひかりの森開催日のみ | | 昼パス (10:00-17:00) | | 夜パス (ひかりの森開催日の 17:00-20:00) | |
|------|--------------|--|--------|----------------------|--------|-----------------------------------|------|
| | | 大人 | 小人 | 大人 | 小人 | 大人 | 小人 |
| 早割 | 3月14日～6月1日 | 3,500円 | - | 2,500円 | - | 1,600円 | - |
| 前売 | 6月2日～7月31日 | 3,700円 | - | 2,700円 | - | 1,750円 | - |
| 直前割 | 8月1日～8月22日 | 3,800円 | - | 2,800円 | - | 1,800円 | - |
| Web割 | 8月23日～11月30日 | 3,900円 | - | 2,900円 | - | 1,850円 | - |
| 山上窓口 | 8月23日～11月30日 | 4,000円 | 1,700円 | 3,000円 | 1,200円 | 1,900円 | 950円 |

※当芸術祭会期限定で上記に大人+800円、小人+400円で「シダレミュージアム 2025 エモい展」に割引入場できるセット券も販売。(8月23日～11月24日まで)

<夜間イベント>

「ひかりの森～夜の芸術散歩～」

昼夜パス、夜パスで入場が可能です。

【会 期】 2025年9月20日(土)～11月30日(日)の土日祝

【開催時間】 17:00～20:00

【会 場】 ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園

【アーティスト】 高橋匡太、村松亮太郎/NAKED, INC.

主催 : 六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社

特別助成・協賛 : 神戸市、阪急阪神ホールディングス株式会社

助成・協力 : 公益財団法人 神戸市民文化振興財団

総合ディレクター : 高見澤清隆

【資料に関するお問い合わせ】

六甲山観光株式会社／神戸六甲ミーツ・アート事務局
TEL:078-891-0048(平日9:00～18:00)



公式 WEB サイト

出展決定 招待アーティスト

かわまたただし
川俣正1953年 北海道出身、フランス・パリ在住
1984年 東京藝術大学 大学院 博士課程満期退学

第40回ヴェネツィア・ビエンナーレ(1982年)の参加アーティストに選ばれ、その後ドクメンタ8(1987年)、ドクメンタ9(1992年)、第3回ミュンスター彫刻プロジェクト(1997年)などの国際展にて高い評価を獲得し、1998年に東京藝術大学先端芸術表現科の設立に主任教授として参画した。2005年にはアーティストでありながら横浜トリエンナーレの総合ディレクターとして大規模な国際展の企画を手がけた。

2006年以降、活動の拠点をフランス・パリに移し、パリ国立高等芸術学院にて教授職に就きながら、アーティストとして欧州を拠点に精力的な活動を展開する。彼の仕事に関わっていく分野は、建築や都市計画、歴史学や社会学、日常のコミュニケーション、あるいは医療にまで及ぶ。現在、フランス・パリを拠点に欧州・アジア地域で活動を展開している。



《カワマタ・ブリュック》2022年、スイス

すだよしひろ
須田悦弘1969年 山梨県出身、東京在住
1992年 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業

本物と見紛うほど精緻な花や草を木彫でつくり、それらを思いがけない場所に設置して空間全体をインスタレーションとする作品を制作。

1993年、銀座のパーキングエリアで初個展「銀座雑草論」を開催。主な個展に原美術館(1999)、シカゴ美術研究所(2003)、国立国際美術館(2006)、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(2006)、ホノルル現代美術館(2009)、千葉市美術館(2012)、渋谷区立松濤美術館(2024)など。

《雑草》2008年
(c) Yoshihiro Suda / Courtesy of Gallery Koyanagiたかはしきょうた
高橋匡太1970年 京都府出身・在住
1995年 京都市立芸術大学 大学院 美術研究科彫刻専攻修了

光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅100周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

《いろとりどりのかけら》2024年(リニューアル)
常設展示、十和田市現代美術館 撮影:村上 美都

出展決定 招待アーティスト

たかのちさと
高野千聖

1998年 大阪府出身・在住
2021年 近畿大学文芸学部芸術学科造形芸術専攻修了

まちが生み出した廃材、建築資材、既製品などを使用し立体、インスタレーション、またドローイングや zine を制作。近年は屋外でのインスタレーション作品を通じ人々とその場で生まれる“アートと社会の関係性”という得難い事象に興味がありアートプロジェクトを行う。



《Generator》2024年、Generator、
北加賀屋千島ビル北側空地(大阪)
撮影:小西小多郎

ナウイン・ラワンチャイクン

1971年 タイ王国 チェンマイ出身、チェンマイ・福岡在住
1994年 チェンマイ大学卒業

インド系タイ人のアーティストであるナウイン・ラワンチャイクンは、かつてインド領だったパンジャブ地方を出自とする祖先を持ち、タイ北部チェンマイに生まれ育った。日本人女性と結婚後、日本に家庭を築き、タイと日本を拠点に置きながら、多様な民族が暮らすコミュニティの歴史などをテーマにした作品を数多く手がけている。その活動は、異なる土地に生きる市井の人々の人生や暮らしを記録する旅のようでもある。

30年にわたり、「ナウインプロダクション」のチームとともに手掛けた作品は、国内外の主要な美術機関の評価を受け、収集されている。いまま、美術館での展覧会や国際芸術祭へ参加しながら、社会の変化を反映したコミュニティ・プロジェクトを続けている。



《赤倉の学堂》2015年、
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ、
新潟県十日町エリア(赤倉村)
撮影:Navin Production

パインツリークラブ

2017年結成 主な活動拠点 日本

鈴木雄介、野地真隆、深野元太郎、Léo Allègre によるアート活動集団。「パインツリークラブ」という名前は、大地の芸術祭が行われた十日町市松代の清水集落にあったという松の大木が由来になっている。個々のメンバーの役割と活動目的を定めないことを活動の前提とし、それにより、作品制作時に関わる人や場所からの偶然的な影響を歓迎すべきものとして捉え、作品の完成形が当初のプランからずれていくことを受け入れる。計画から現場まで、可能な限りを成り行きに任せながら、その時々状況にリアクションを繰り返すことで制作を進める。



《売店》2023年

むらまつりょうたろう

村松亮太郎/NAKED, INC.

アーティスト/NAKED, INC.創業者/大阪芸術大学客員教授/長野県・阿智村ブランディングディレクター

1997年にクリエイティブカンパニーNAKED, INC.を設立以来、映像や空間演出、地域創生、伝統文化など、あらゆるジャンルのプロジェクトを率いてきた。映画の監督作品は長編/短編合わせて国際映画祭で48ノミネート&受賞。2018年からは個人アーティストとしての活動を開始し、国内外で作品を発表。2020年には、分断の時代に平和への祈りで世界を繋ぐネットワーク型のアートプロジェクト「DANDELION PROJECT」を立ち上げ、世界各地での作品設置に取り組む。2023年には『G7 広島サミット』における首相夫妻が主催する社交行事の演出を担当。



《DANDELION PROJECT》

ほりおさだはる ともいたかゆき

堀尾貞治×友井隆之

堀尾貞治: 1939年神戸市出身(2018年逝去)、元具体美術協会会員

友井隆之: 1972年大阪府出身・在住、TOMOI R&D 代表

堀尾貞治と友井隆之は、2010年頃から実験的に金属を使って身近にある「単位」を使った表現の可能性を共に探り、普段の生活のなかにある「あたりまえのこと」を時には見えるように、時には聞こえるように表出させていった。そして、2016年より1kg単位の作品を1000個作ることで完成する「1ton彫刻」に取り掛かることになる。2018年に堀尾貞治が逝去して以降も、友井隆之が遺志を引き継いでプロジェクトを継続している。



《1ton 彫刻》2020年、宝塚現代美術てん・てん、宝塚市文化芸術センター(兵庫)

資料に関するお問い合わせ

六甲山観光株式会社／神戸六甲ミーツ・アート事務局

TEL: 078-891-0048 (平日 9:00~18:00)